

展。壁面を埋め尽くすものは、よく見るとすべて、モノトーンの染料をしみこませた衣類の集積。衣類に宿る記憶が圧倒的な迫力で迫ってきます。会場では、立花泰彦（ベース）×木村朱美（ダンス）によるスペシャルライブも行われました。

一二月「イアンレの種と極」小林重予の言葉と舞台美術」。二〇一七年一月に亡くなった造形作家・小林重予さんに向けて、生前かかわりのあった人たちがほぼ一年をかけて検討を重ね、創りあげた追悼の催し。小林さんが書いた文章と、小林さんが舞台美術を手掛けた劇団極のせりふを、極の俳優が朗読しました。

超満員となった会場の熱気、俳優による言葉の力、映像や音楽によって、まれにみる劇的な空間が生まれ印

二〇一八年 ドラマシアターども便り

昨年の九月六日の胆振東部地震、皆さんは被害ありませんでしたか？私の住む江別市は、震度五強でした。

前日五日の台風二一号、ドラマシアターどもの大正一一年建造の煉瓦の三階建て、一階部分入口の弱い個所が、台風の強風で真夜中吹き飛ばされた。

二階のギャラリー・喫茶の内部が一晩中、雨と強風で吹き荒れた。

明け方まだ風の止まぬ中、御近所に散らばった木片などなどを、車で拾って歩いた。

象深いひとときでした。



イアンレの種と極（西山美紀子）



菊地雅子 fiver work 個展

江別・ドラマシアターどもⅣ 安念優子

—近くの外輪船の駐車場の大木が五、六本裂けたように倒れている・・・。

王子製紙の草地の白樺の倒木も凄い・・・。

古い飲み屋街の建物の二階が崩れ落ち、道を塞いでいる・・・。

嵐の去った早朝の風景—。

朝から駆け付けてくれた人が居て、壊れた壁の応急処置をした。

そして六日の午前三時の地震。

三階に住む私たちは、揺れが激しくて、ラジオと懐中電灯を持ち、月明りの外に出ていました。停電と断水。

劇団員や友人が冷凍庫の食品を持ち寄って、駐車場で炭をおこし七輪のバーベキューが繰り広げられた。

知り合いの電気工事の会社でご飯食べさせてと一人ほど、仲間入りした。野菜直売所が開かないので大量のとうきびが届いた。

ガスと炭、薪ストーブ、溜めた水。ご飯を炊き、とうきびも茹でた。

余震の続く不安の中、幸い大きな事故や怪我もなく授かった静かな時間・・・。

八日後の余震が続く中、九月一四、一五、一六日と、予定通り、劇団ドラマシアードも「想」ヒモトタカヒロ作・演出の公演、決行しました。

避難経路・誘導・人員・懐中電灯、役割分担・開演前のMC。

幸い大きな揺れは無かった・・・。

予想に反して、お客さんも大勢きてくれました。

台風で壊れた壁は、火災保険が出て修理を終えた。

外輪船の倒木を運び、切って割り、薪ストーブが沸かしたお湯で喫茶のコーヒーを淹れている。

阪神淡路の震災・東北日本大



「ト下山第三分教場パートⅢ 2018」
安念智康・作・演出 2018.4



讃岐座 田井竜也ひとり芝居
「風のゆびきり」2018.8 長野県諏訪在住



「想」ヒモトタカヒロ作・演出 2018.9

震災・福島原発事故、九州・大阪・岡山と、大きな災害があったが、北海道の地元での自然災害は、身体が中心が目覚めたような大きな衝撃だった。
(厚真・安平・鶴川町のみなさんの大変な被害とは比べようもないが)
今年、ヒモトタカヒロ作と安念智康作の二本の新作を創ろうと決めている。
シェイクスピアの「夏の夜の夢」をテキストに、ウオーミングアップのワークショップが始まっている。
大地の声を聴きながらゆっくり歩いて行こうと思っています。
*災害の話が中心で、場違いの文章かと恐縮しますが、お許しください。
今年もありがとうございます。

二〇一九・一